

JA 営農情報

№333 令和5年 6月号

夏野菜の管理

6月に入り梅雨の時期を迎えますが、畑の対策は済みでしょうか？夏野菜にとって過湿な環境は生育不良や病気の原因となるため注意が必要です。



■排水対策

長雨により水が溜まった状態が続くと根腐れを起こす恐れがあります。また、茎や葉が水に浸かると、そこで病気が発生しやすくなります。基本は高うねにして栽培するよう意識し、水が抜けやすくなるように排水路を確保しましょう。また、同じ畑の中でも水が溜まりやすい場所や水はけが悪い場所がないか事前に把握しておくことをおすすめします。



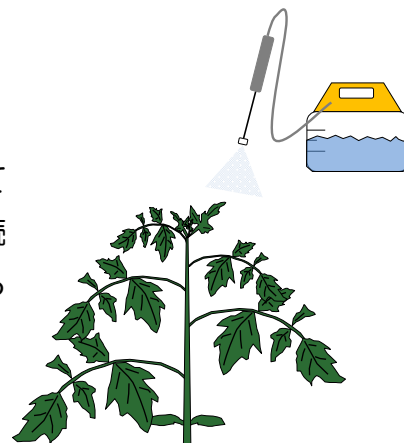
■病虫害防除

夏野菜全般に被害を及ぼす害虫として『アザミウマ類』や『ハダニ類』などによる吸汁害が挙げられます。また、葉の表面に白い粉状のカビがつく『うどんこ病』や下葉から泥水を吸い上げたように葉が暗褐色になる『疫病』などがあります。

『疫病』は雨が多いときに、『ハダニ類』や『うどんこ病』は雨が少ないときに発生しやすい傾向にあります。いずれも早期発見・早期防除が重要です。

薬剤散布時の注意

薬剤を散布した直後に雨が降ってしまうと、農薬が流されてしまい十分な効果が発揮されません。梅雨の時期で雨の日が続きますが、薬剤を散布するときは天気予報を確認し、雨が降らないタイミングや雨上がり後の散布を心がけてください。



えだまめ栽培



6月はえだまめの種まき時期です。栽培期間も比較的短いので育ててみてはいかがでしょうか。

えだまめは初めに元肥を入れておけば、その後の追肥は原則不要です。ただし、生育が悪いようであれば、窒素成分が少なめの肥料（化成肥料8－8－8等）を施肥して様子を見てください。また開花期以降に乾燥すると落花や実入り不良の原因となるため、適度な灌水に努めましょう。

※カメムシ類に注意！

えだまめはカメムシ類による吸汁害が発生しやすいです。えだまめにつくカメムシは米とは異なり体長5mm程度の小さいものが多く、被害にあった莢は生長が止まり、豆が肥大しなかったり粒数が減ったりするので注意が必要です。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。
持込が困難な方については、ご自宅へお伺いして集荷する制度がございます。
少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？
詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔月第2木曜日	税 務 相 談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介 護 相 談 随 時 受 付
6月	—	23日	17日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽に お問い合わせ下さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
7月	13日	—	15日	
8月	—	25日	19日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は <u>3名</u> ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） <u>ふれあい・福祉課 TEL：627-7768</u>			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用下さい

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL 641-9150
 【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL 641-9050